



2013年☆..
9月号
 vol.116

～「そっとおとどけ」は、直方市立図書館の司書によるミニ新聞です～



9月

10月

- 1日(日) 14:00～ れろの会 (おはなし会)
- 10日(火) 11:00～ 表のこ (乳幼児向けおはなし会)
- 14日(土) 11:00～ 王様の箱 (おはなし会)
 14:00～ ☆土曜シアター
 「The Cell」(109分)
- 21日(土) 14:00～ ☆なごはな教室 (ブラックボードシアター)
- 22日(日) 14:00～ 図書館職員おはなし会
- 28日(土) 14:00～ ごくらくとんぼ (おはなし会)

- 8日(火) 11:00～ 表のこ (乳幼児向けおはなし会)
 - 12日(土) 14:00～ ☆土曜シアター
 「リバーランドスルー・アウト」(124分)
 - 13日(日) 11:00～ 赤苺さん (おはなし会)
 - 26日(土) 10:00～ ♥秋の読書まつり
 - 27日(日) 14:00～ 図書館職員おはなし会
- ☆はユメニティ小ホールにて
 ♥はユメニティ小ホール&おはなしコーナーにて
 その他はおはなしコーナーにて
 (参加は無料です)

【9月】

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7
8	9	⑩	11	12	13	⑭
15	16	17	18	19	20	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗
㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞

【10月】

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	⑧	9	10	11	⑫
⑬	⑭	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	⑳
㉑	28	29	30	31		



※ ■ はお休み、太字 は17時閉館、
 ○ は行事がある日です
 (詳しくは職員にお尋ねください)



10/26(土) 秋の読書まつり開催

会場:ユメニティのおがに小ホール&図書館おはなしコーナー

★ プログラム ★

- 10:00～ としよかんバグづくり(未就学児が対象、9/14から申し込み受付開始)
 タングラム(パズル) こうさく
- 11:00～ 景絵「かんぱぎねのたからもの」ほか(ボランティアグループ 表のこ)
- 12:30～ 「ぽんぽんカーリング」こうさく
- 14:00～ おはなし会(ボランティアグループ やまびこ会)
- 15:00～ 映画上映「ミッキーのドキドキ汽車旅行」
 (ボランティアグループ 土曜シアター)

※参加は無料です。イベントの詳細情報は
 館内画報中のチラシをご覧ください。

展示コーナー

一般 「エコライフ～暮らしの知恵いろいろ～」
 ～9/24(火)
 地球に優しい生活を考える特集です。
 節約や手作りに関する本など夏を涼く過ごすための本を集めました。

児童 「おおきいものなんぼ?ちいさいものなんぼ?」
 9/3(火)～9/24(火)

図書館からのお便り

最近、雑誌の紛失やページの切り取りが発生しております。多くの方が利用する資料です。大切にお取り扱いいただきますようお願いいたします。

生きものから宇宙まで、みんなのまわりの大きなもの、小さなものを集めました。
 大ききくらべをやってみよう!

直方市立図書館 〒822-0034
 直方市大字山部301-11
 ((開館時間)) 火～土 10:00～19:00
 日祝 10:00～17:00
 ((ホームページ)) <http://www.yumenity.jp/library/library.html>
 TEL 0949-25-2240 FAX 0949-23-3902

「最後の小学校」

秋山忠嗣：著 (371.3ア)

秋山先生の勤める学校は、佐賀県の向島にあります。生徒は小学6年生のさつきさんたった一人です。先生の奥さんも加わり、三人だけの学校生活が始まりました。授業中は家庭教師にならないように工夫をこらし、水産活動では三人で二獲り。島の教育に戸惑いながらも、人間らしく素直に取り組む秋山先生に胸が熱くなります。



「給食のひみつ」

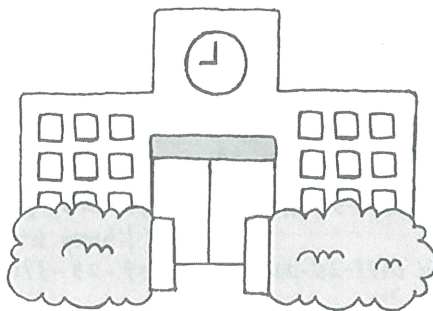
たまだまお：漫画 (K596カ)

お昼の給食の時間は子どもたちにとって、待ち遠しく楽しい時間。それは給食がとっても美味しいからです。そんな美味しい日本の給食は、どこでどのように作られているのでしょうか。また、外国の給食はどんなメニューがあるのでしょうか。身近だけど意外と知らないことの多い給食を詳しく学べる学習まんがです。



「花の道は嵐の道」 天野綾子：著 (YFA)

猫又のタマの飼い主は、弱気で泣き虫な高校生・理生。華道部に入部した理生だが、文化部は茶道部部长に牛耳られ、次々に潰されていた。理生の華道部存続のため、理生とタマは立ち上がる。個性豊かなメンバーとともに繰りなげられるドタバタのスクールライフ。



「中高生の勉強あるある、解決します。」

池本翔太：(ほか)著 (Y375I)

学生生活の問題、あれこれ。この本で取り上げるのは、中学生・高校生が思わず「うん! あるある!」と言うてしまう勉強の悩み、心の悩み、怒…。こんなふうにしてきたら?と著者がそれぞれについて5つの解決方法を提案してくれます。読めば、毎日が素敵になるかも!



「子どもと一緒に家のこと。」

山本ふさこ：著 (590.4ヤ)

とにかく、朝は味噌汁。家族の今日が良い日となるように想いを込めて。1月は味噌作り、新学期は雑巾縫い、夏は蚊取り線香置き作りなど、子どもと一緒に四季折々の家仕事。スクールライフも、ちゃんごはん、家事がなされているおうちだからこそ、より充実するのだろうなあ、と思われた一冊。

「ホーニ・リッジ学校の奇跡!」

リチャード・ペック：著 (Y933ハ)

ホーニ・リッジ学校に通う少年ラッセルは、大の学校嫌い。ある日、姉のタンジーが臨時教師としてやってきた。なんでも期限が決まられ、最終日に教育委員会による試験が行われるらしい。タンジーによってこれまでとちがって違う学校生活を送ることになったラッセルだが、果たして学校嫌いはい克服できるのか。

「子どもの教育費これだけかかります。」

日経研編集部：編 (373.4ニ)

ズバリ! 子どもの教育費、いくらかかるか知っていますか? 本書では、公立・私立に通った場合やおけいこ塾をした場合等の細かくシミュレーションされています。お金の事ってなかなか人に話しづらいですよね。教育費を「かかる」のではなく「かける」という視点で考えてみましょう。

長い夏休みが終わり、学生さんはいよいよ新学期ですね!

そこで今回は、「スクールライフ」をテーマに本をご紹介します。

「やりなおし算数道場」

歌丸隆一：著 (4107)

「数学は嫌い」というより、ただただ分からなかったのだ。集合の確率の点Pの連立の方程式の、何を言っているのか、まずそこから分からない。最近大人になって数学を勉強しなおす人が増えているそうだ。簡単な理論を積み重ねて難しい問題がすっきり解ける、その気持ちよさにはまららしい。秋の夜長クイズを解く感じで、もう一度数学に挑戦してみませんか。

「ぼくは勉強ができない」

山田詠美：著 (Fヤ)

これは「勉強ができない」高校生・時田秀美を主人公とする小説だが、では、勉強ができるとはそもそもどういうことだ! 勉強とはなににか? という具合に大上段に振りかぶるのではなく、「まあ、勉強ができないのもそう悪くはないな」と思える話だ。ところで、作者の山田詠美は、この話をかって高校生であった大人に読んでほしいと、あとがきに記している。同感だ。

「おにぎり★パラダイス」

いつ、どこで食べてもおいしい! 135レシピ
主婦の友社：編 (596.3シ)

高校時代、なんであんなにお腹が空いていたのか…。休み時間、放課後、今思うとゾッとするくらい間食していた。しかも、メニューはだいたい菓子パンかおにぎり。本書は、いろんなおにぎりが載っているレシピ本です。当時、レシピをたくさん知っていたら、間食タイムがもっと楽しかったかも。



「おともだちにナリマ小」

たかどの(うこ)：作 (K913タ)

ハルオは一年生になったばかり。ある日、学校に手紙がとどきます。その手紙には「おともだちにナリマ小」と書いてありました。

なんだかともヘンな手紙。でも、ハルオにはこころあたりがありました。それは、つい先日のできごとです…。



「ウエイサイド・スクール (はきょうもへんてい)」

ルイス・サッカー：著 (K933サ)

ウエイサイド・スクールは30の教室が並ぶ平屋の校舎になるはずだった。なのに、ちよとした手遣いで1つの階に1つの教室、びょうびょうの30階建て校舎になっちゃった!?

このへんていなウエイサイド・スクールを舞台に繰りなげられる、へんていな生徒たちの30の楽しい物語。

「迷宮ヶ丘1丁目 窓辺の少年」

児童文学者協会：編 (K913ニ)

最近美しい少年の絵を描きはじめて親友の優菜が、どこか変。その少年は、美術部の卒業生が残した絵に描かれている。後姿だけの少年らしいが…。表題作「窓辺の少年」のほか、「もうひとりの自分」や「はざま野図書館」など、5つの物語を収録。奇妙な話だけれど怖くはないので、さらっと読める一冊。

